しなフェス2025 報告しポ

～笑顔と踊りがあふれた地域の大イベント～

9月14日（日）に、品川学園にて品川第一地区まつり（通称：しなフェス2025）が開催されました。しなフェスには子どもから大人まで楽しめる企画が大きく分けて3つあり、１つ目はアリーナ内の「パフォーマンス」および「子どもコーナー」、２つ目は「模擬店」、3つ目は「盆踊り大会」です。例年以上にお子様連れのご家族や、盆オドラー（盆踊り愛好家の総称）や、外国籍の方など、多くの方が参加していて、とても賑やかな雰囲気でした。子どもたちが笑顔で遊んでいる姿や、盆踊りの輪にみんなで参加する光景から、地域のつながりの強さも改めて感じました。

最後に、地区まつりにご協力いただいた各町会自治会はじめ、関係機関の皆様、踊り手の皆様、太鼓の叩き手の皆様、素敵な時間をありがとうございました！

マスコットキャラクターも駆けつけてくれました▼

▲射的で子どもたちは真剣なまなざしに！👀

模擬店

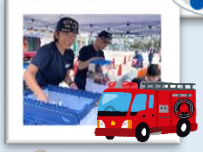
屋外では、地域のにぎわいを象徴するような活気に満ちた多種多様な模擬店が展開され、多くの来場者で賑わいました。町会・自治会による出店では、昔ながらの焼きそばやかき氷といった夏祭り定番メニューの他に、ベビーカステラやピザを販売するブースもあり、豊富なラインナップとなっていました。

また、毎年大人気のJAL（日本航空）ブースは、今年も子どもたちに大好評！紙飛行機づくり体験では、小さな子どもたちが真剣な表情で紙を折り、完成した飛行機を飛ばしては歓声を上げていました。まさに「地区まつりの醍醐味」が詰まった場所となっていました♪

◀JALブース

◀ピザ屋さんが！

◀ボールすくい！みんなは沢山取れたかな？



◀消防署はミニ放水訓練のブースを設置！

アリーナ

屋内会場のアリーナでは、開幕から閉幕まで、まるで舞台と遊園地がひとつになったような、にぎやかで温かい空間が広がりました。

ステージでは、地域で活動する各団体による元気いっぱいのパフォーマンスが次々と披露され、観客の拍手と歓声が絶えませんでした。オープニングを華やかに彩ったのは、御殿山小学校金管バンドクラブの皆さん。その後も、チアダンスや一輪車演技など、日頃の練習の成果を存分に発揮する子どもたちの姿が続き、会場のボルテージは徐々に上昇。そしてラストを飾ったのは、圧巻の品川学園吹奏楽部による演奏！迫力ある音と繊細な表現がアリーナいっぱいに響き渡り、感動のフィナーレとなりました。

▼子どもコーナー

▲御殿山小学校金管バンドクラブ

一方で、ステージの熱気とはまた違った賑わいを見せていたのが、同じアリーナ内に設けられた『子どもコーナー』です。こちらでは、輪投げ・工作・体を動かすゲームなど、小さなお子さんが夢中になれるアクティビティが勢ぞろい！家族で一緒に楽しめる工夫も盛り込まれており、自然と会話や笑顔が生まれる、地域のふれあいの場にもなっていました。

盆踊り大会

品川第一地区まつりのクライマックスといえば、なんといっても盆踊り！踊りの中心には、毎年品川第一地区まつりの盆踊りを牽引する斧淵（おのぶち）先生が指先まで美しい所作で踊る姿に、周囲の踊り手たちもリズムに合わせてしなやかに体を動かしました。

▼シナガワン

▲しなぼう

▲くるみちゃん

さらに、盆踊りの合間には、子どもたちが大喜びのキャラクターグリーティングも大盛況！ケーブルテレビ品川の人気マスコット『シナガワン』が登場すると、会場は一気にほっこりムードに。続いて、防犯の啓発活動にも取り組む品川区の公式キャラクター『しなぼう』、そして認知症の理解を広げるためのキャラクター『くるみちゃん』も姿を見せ、子どもたちに囲まれて一緒に写真を撮ったり、手を振ったりして交流を深めていました。親御さんたちも思わずカメラを構え、記念に残る一枚をパシャリ📷